



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【京都市】

1 実践テーマ	【 I. V 】
2 実施対象者	京都市立西京高校定時制 第3学年（男子21名・女子13名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (人権学習)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方々についての理解を深め、すべての人がお互いに支え合い共存していく社会を形成する社会人となるひとつの機会とする。 ・車いすバスケットボールを通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。
5 取組内容	<p>(1) 事前学習 オリンピック・パラリンピックについて学ぶ</p> <p>①リオオリンピック・パラリンピックの映像観賞</p> <p>②パラリンピックの競技種目について</p> <p>③オリンピック・パラリンピックの歴史</p> <p>④オリンピック・パラリンピックによって社会はどう変化するか、まだ自分たちはどのように参加できるか</p> <p>⑤感想文記入</p> <p>(2) 車いすバスケットボール体験</p> <p>①選手紹介</p> <p>②車いすバスケットボールの競技説明、模範演技</p> <p>③車いす体験</p> <p>④クラス対抗試合</p> <p>⑤選手代表の体験談</p> <p>(3) 事後学習 感想文記入</p>
6 主な成果	<p>競技用車いすの操作の難しさ、シュートの難しさなどを体験し、苦戦しつつも楽しんでいただこう感じた。選手の貴重な体験談では、真剣に話を聞いている姿が印象的であった。</p> <p>事後感想文の結果から、障がい者理解、共生社会の必要性などの感想</p>

	<p>が多くの生徒に見られ、学習目標を十分達成できたように感じた。 〈生徒の感想文（抜粋）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手の出来事を聞いて、とても感動した。普通なら、死にたい、逃げたいの考えが僕の考えだけど、彼は違う考えでとても努力しているんだなと思いました。 ・たとえ足がなくても、腰から下がつかえなくても、彼らは暗闇じゃなく希望を常に歩いているようにみえて、とても感心した。自分は自分なりに頑張ろうとか思ったりしたけど、彼らみたいにもっとまわりの力とかをかりていく行動をしたいと思いました。とてもいい勉強になった。 ・選手の方がお話の最後に放置自転車について話されていたけど、それ以外にも私が誰もが住みよい街をつくるために出来ることを探していきたい。 ・障がい者や健常者の違いなんて関係ないと感じたし、障がい者差別がなくなってほしいとおもいました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習で、オリンピック・パラリンピックについて学んだことで、より車いすバスケットボールについての知識・理解が深まった。 ・小人数での実施ということもあり、全生徒が車いす体験とクラス対抗試合に参加できる時間を確保した。
<p>8主な課題等</p>	<p>競技用車いすを借りる場合の、他校との日程調整や運送費用の問題。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>現段階では未定だが、来年度も継続して実施していけるように計画していきたい。</p>